参考資料７

柿木図書館及び周辺施設の更新等に関する検討まとめ

令和８（2026）年10月

目次

1．　はじめに　P1

2．　施設の概要　P2

3．　意見聴取の取組　P4

4．　ワークショップを通じて作成した更新方法（たたき台）　P9
- 4－1　たたき台の内容　P9
- 4－2　たたき台の比較　P12

5．　たたき台へのご意見を踏まえた更新方法（素案）　P19
- 5－1　素案を検討するに当たってのポイント　P19
- 5－2　素案の内容　P23

6．　素案へのご意見を踏まえた更新方法（案）　P24

7．　今後のスケジュール（予定）　P27

1. はじめに

区では、築60年を経過し老朽化が進むとともに、エレベーターの設置などのバリアフリー対応ができていない柿木図書館及び四宮保育園・ゆうゆう四宮館について、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接する四宮区民集会所の建物と併せて、更新に向けた検討を区民の皆さまとの対話を通じて行ってきました。

検討に当たっては、令和7(2025)年度から令和8(2026)年度にかけて、ワークショップやオープンハウスを開催するとともに、施設利用者との意見交換や地域住民等へのアンケートを実施するなど、様々な方法で皆さまのご意見をお聴きしてきました。また、子どもたちの意見を聴くために、四宮小学校の児童を対象としたアンケートを実施してきたところです。

ワークショップにおいては、参加者同士が意見交換を行うほか、参加者と区の職員が対話を重ね、3つの更新方法(たたき台)を作成しました。また、現在の施設の良さや課題などを整理した上で、施設の更新に当たって期待することを“取組への期待”としてまとめました。

さらに、ワークショップを踏まえて実施したオープンハウス等では、ワークショップの成果等を広く共有し、ワークショップに参加していない方からもご意見を伺いました。

そして、これらの取組を通じていただいたご意見を踏まえ、柿木図書館を現在の場所で改築するとともに、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を解体し、四宮保育園と(仮称)コミュニティふらっと四宮を併設して整備することを更新方法(案)としました。この案は、地域に親しまれてきた施設の配置を維持しながら、様々な世代が集まり、多様な活動ができる場所として新たにコミュニティふらっとを整備するものです。

本検討まとめは、これまでの意見聴取の取組のほか、更新方法(案)を作成するまでの検討経過等を整理したもので、今後の施設整備に向けた基礎資料として活用していきます。

なお、各施設の詳細は、令和９(2027)年度以降に実施する基本設計等において、引き続き地域住民や施設利用者の意見を聴きながら検討を行います。

また、各施設の整備後も、これまでの意見聴取の取組を大切にした上で、地域住民や施設利用者と共に地域に愛される施設づくりに取り組んでいきます。

【現在の施設配置】



【更新方法(案)の施設配置】



2. 施設の概要

■ 柿木図書館（上井草1-6-13）

■ 基本情報

築年数：61年、敷地面積：1,658㎡、延床面積：1,162㎡

・エレベーターや幼児用/バリアフリートイレ、授乳室が設置されていないほか、児童コーナーやヤングアダルトコーナー等が不足しているなどの課題があります。



■ ワークショップでの主なご意見

残したい良さ

・緑に囲まれた中で、くつろいで読書や勉強ができる。
・「柿木」という地名に由来する図書館であるため、移転せずにこのままの場所が望ましい。
・敷地内に柿の木やメタセコイヤなど特色ある樹木が植えられている。

改善したい点

・読書のできるスペースが少ない。
・テレワークやグループワーク、勉強のできるスペースが欲しい。
・１階に０～１歳児向けのコーナーがあると、子育て世帯の居場所として、より良い施設になると思う。

■ 四宮保育園（上井草2-28-3　1階）※ゆうゆう四宮館と併設

■ 基本情報

築年数：60年、敷地面積：1,388㎡(ゆうゆう館含む)
延床面積：355㎡、園庭面積：563㎡

・現在の基準に合わせて、障害児保育のための諸室等を設置する必要があるため、改築により延床面積が増加します。
・休園ができない施設であることから、改築工事期間中の仮設園舎を整備する必要があります。





■ ワークショップでの主なご意見

残したい良さ

・広い園庭で存分に遊べる。
・ワンフロアなので全体に目が届き、安全性が高い。

改善したい点

・遊戯室などの広いスペースがない。
・自転車登園の人が多いが、駐輪スペースが少ないように思える。

■ ゆうゆう四宮館（上井草2-28-3　2階）※四宮保育園と併設

■ 基本情報

築年数：60年、敷地面積：1,388㎡(保育園含む)
延床面積：202㎡

・主に60歳以上の区民が、憩い・いきがい学び・ふれあい交流・健康づくりの場として利用できる施設です。





■ ワークショップ参加者やゆうゆう館利用者の主なご意見

残したい良さ

・ゆうゆう四宮館は、雰囲気が良く、家庭的な環境なので、気軽に入りやすい。
・自分にとっては、家から近いところ。
・催し物（協働事業等）があることによって、地域の方々と親しめる。
・催し物（協働事業等）に魅力的なものが多い。

改善したい点

・エレベーターの設置などバリアフリー化してほしい。
・年代を問わず使えるような施設になれば良いと思う。
・若い世代も利用しやすい施設にしてほしい。
・利用する人が固定化されてしまっている。
・10年、15年利用している人は楽しく集まりやすいが、新規で来館する人が入りにくいという話があった。

■ 四宮区民集会所（上井草2-28-13）

■ 基本情報

築年数：42年、敷地面積：615㎡、延床面積：299㎡

・柿木図書館や四宮保育園・ゆうゆう四宮館と比較して築年数は浅いですが、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接しており、土地の有効活用の観点から対象としています。
・地域区民センター協議会が、地域のお祭りや講座等を実施しています。



■ ワークショップでの主なご意見

残したい良さ

・いつでも自由に使える談話コーナーがある。
・春祭りや餅つきは地域に根付いている。
・子どもたちが一緒に遊ぶ際に集まりやすい場所となっている。

改善したい点

・談話コーナーを拡充してほしい。高校生やワークスペースとして使う人が増えるように、机や電源を設置すると良いのではないか。
・広い部屋がないので、大人数で集まることができない。
・出入口が分かりづらいため、施設の様子が分かりにくく、利用しにくい。

3. 意見聴取の取組

（1）ワークショップの開催



○参加者を公募した上で、柿木図書館と周辺施設の更新等について検討するワークショップを全４回開催しました。ワークショップでは、６つのグループに分かれて検討を行いました。

回数	日時	会場	参加者数	主な内容
1	令和7(2025)年8月31日(日) 午後2時～午後5時	四宮小学校	30人	・施設見学 ・グループごとに施設の残したい良さや改善したい点などを共有
2	令和7(2025)年11月1日(土) 午前9時半～午後0時半	井草地域区民センター	24人	・施設の課題を整理し解決に向けた方策を検討
3	令和8(2026)年1月24日(土) 午前9時半～午後0時半		23人	・更新方法(たたき台)について検討
4	令和8(2026)年3月28日(土) 午前9時半～午後0時半		28人	・複数の更新方法(たたき台)の比較検討

■ ワークショップでの議論に当たって実施した取組

① 施設利用者等の意見聴取

○各施設の利用者や事業者に対してアンケート等を実施し、施設の残したい良さや改善したい点などについてご意見を聴取しました。聴取した内容は、第２回のワークショップで共有しました。

施設名	実施期間等	回答者数等	主な内容
柿木図書館	令和7(2025)年9月24日(水) ～10月8日(水)	65人	・柿木図書館の利用者に対してアンケートを実施
四宮保育園	令和7(2025)年10月1日(水) ～10月8日(水)	25人	・四宮保育園の保護者に対してアンケートを実施
ゆうゆう四宮館	令和7(2025)年9月30日(火) ～10月13日(月)	14人	・ゆうゆう四宮館の利用者に対してアンケートを実施
	令和7(2025)年9月30日(火)	10人	・ゆうゆう四宮館の利用者と区職員の意見交換会を開催
四宮区民集会所	令和7(2025)年9月25日(木) ～10月9日(木)	44人	・四宮区民集会所の利用者に対してアンケートを実施

② 施設見学会

○ワークショップでの議論の参考とするため、区が直近に整備した図書館及び集会施設をワークショップの参加者が見学しました。

実施日	参加者数	見学施設	施設概要
令和7(2025)年 12月21日(日)	15人	高円寺図書館	令和7(2025)年4月、小学校跡地に移転改築した図書館で、コミュニティふらっとととの複合施設
		コミュニティふらっと本天沼	令和6(2024)年10月、区民集会所を増築・改修して開設したコミュニティふらっとで、近隣にあったゆうゆう館の機能を継承

運営事業者のコメント

高円寺図書館（コミュニティふらっと高円寺南）

区民集会所で開催している地域区民センター協議会のお祭りや講座等については、コミュニティふらっとに移行したとしても、地域区民センター協議会がこれまでどおり開催することは可能である。

コミュニティふらっと本天沼

高齢者向けのイベント数に変更はなく、それ以外の多世代向けのイベントが増えた結果、これまで高齢者中心だったイベントに若い世代も参加するなど、多くのイベントが盛り上がっている。

■ ワークショップを通じて作成した資料

○ワークショップでは、参加者との意見交換を通じて、施設の更新に関する３つの“たたき台”のほか、”取組への期待”及び“視点”を作成した上で、“たたき台”の比較を行いました。

“たたき台”



参加者との意見交換を通じて、施設の更新に関する３つの“たたき台”を作成しました。

9ページ～

“取組への期待”及び“視点”



参加者等のご意見を“取組への期待”として整理した上で、“取組への期待”ごとに、たたき台を比較するための“視点”を作成しました。

12ページ

“たたき台”の比較



“取組への期待”及び“視点”に沿って、“たたき台”の比較を行いました。

13ページ～

（2）更新方法(たたき台)に関するオープンハウスの開催

○ワークショップを通じて作成した３つの更新方法(たたき台)をパネル展示し、ワークショップの参加者以外の方からもご意見を伺いました。

回数	日時	会場	来場者数	主な内容
1	令和8(2026)年5月15日(金) 午後2時～午後5時	・柿木図書館 ・みんなの街の駅 (下井草5-19-12)	38人	・ワークショップを通じて作成した更新方法(たたき台)をパネル展示 ・更新方法(たたき台)に関するアンケートを実施＊
2	令和8(2026)年5月16日(土) 午後2時～午後5時		50人	

＊オープンハウス会場のほか、区ホームページや対象施設でアンケートを実施
（回答数：会場27件、区ホームページ等321件）

■ 主なご意見

（たたき台３について、）地域の人が慣れ親しんでいる保育園、図書館の位置関係をあえて入れ替える必要性を感じられなかった。配置を変更することで、図書館の休館期間が６年間と長期化するため、なおさら理解が及ばなかった。静かな環境が求められる図書館と賑やかな集会施設の複合化は適さないと思った。
今の場所に図書館があることで、緑に囲まれた現在の図書館の景観を形成している。この雰囲気を良いと考える地域住民・図書館利用者が多く、移転させることには大きなハードルがあると思う。
それぞれ役割をもった施設であり、地元に根付いている施設です。利用者としても近隣住人の方にとっても、環境が大きく変わることがなく維持できる案が良いと思います。
区民集会所も築年数が42年を超えてきているとのことで、せっかく保育園とゆうゆう館を建て替えるなら一緒に全部を建て替えた方が区民にとって使いやすい施設ができる。将来、区民集会所を建て替えるのであれば、その時の建築コストはさらに上がっているかもしれない。
気軽に立ち寄れる場所が広いと良い。同じ世代同士だけでなく、様々な世代や子どもと大人の交流が生まれる利用やイベントなどの仕掛けがあると良い。地域の交流が生まれると、生活が豊かになったり、防災力の向上にもつながると思う。
ゆうゆう館は高齢者の見守りに配慮していて、行くたびに声を掛けてくれたり、休みが続くと電話をくれるなど細かい配慮がある。この安心感のある対応を残してほしい。





（3）ゆうゆう四宮館利用者への意見聴取

○更新方法(たたき台)について、ゆうゆう四宮館に利用登録している全11団体の利用者からご意見を伺いました。

回数	日時	会場	来場者数	主な内容
1	令和8(2026)年5月22日(金) 午後1時～午後5時	ゆうゆう四宮館	28人	・更新方法(たたき台)に関するオープンハウスの資料を用いて意見交換
2	令和8(2026)年5月25日(月) 午後1時～午後5時			
3	令和8(2026)年5月26日(火) 午後1時～午後5時			

■ 主なご意見

ダンスの活動中に手がぶつかってしまうので、今より広めの部屋が欲しい。貸室利用の前後にくつろげたり、飲食ができるスペースがあると良い。
コミュニティふらっとはいろんな世代が使えるところが良い。
個人的にはゆうゆう館の方が良いと思うが、コミュニティふらっとは合理的で全体を考えると良いと思う。ゆうゆう館はこじんまりとした窓口の雰囲気が良いと思う。
改築工事期間中も、団体の活動だけでなく気功ストレッチや太極拳など、ゆうゆう四宮館の事業者が実施している教室を継続してほしい。教室の先生も含めて団体登録をして、団体の活動として継続できるのであればそれでも構わない。
改築工事期間中の代替活動場所は、井草地域区民センターで構わない。その他、ゆうゆう今川館は比較的空いており、バスのアクセスも良いので代替に向いていると思う。
休館期間中に高齢者の居場所がなくならないようにしてほしい。

（4）四宮小学校の児童へのアンケートの実施

○四宮小学校の5、6年生を対象にWEBアンケートを実施（令和8(2026)年6月1日～12日）し、34名の児童から回答をもらいました。

■ 主な回答

Q. 新しい柿木図書館はどのようになると良いか（複数選択可）

静かに勉強したり本を読んだりできる場所が増えると良い	21人
読みたい本がたくさんあると良い	29人
友達とおしゃべりできる場所があると良い	19人
お話し会や映画会などのイベントがたくさんあると良い	11人
Wi-Fiを使えると良い	14人
その他	2人

Q. 区民集会所が新しくなる場合、何があったら良いと思うか（複数選択可）

友達とおしゃべりできる場所	27人
飲み物やお菓子を売ってほしい	13人
イベントがたくさんある	16人
子どもが自由に使える部屋	24人
その他	4人

（5）更新方法(素案)に関するオープンハウスの開催

○更新方法(素案)に関するパネルを展示し、地域住民や施設利用者からご意見を伺いました。

回数	日時	会場	来場者数	主な内容
1	令和8(2026)年8月17日(月) 午後2時～午後5時	・四宮区民集会所	19人	・更新方法(素案)に関するパネルを展示 ・更新方法(素案)に関するアンケートを実施*
2	令和8(2026)年8月18日(火) 午後2時～午後5時		22人	
3	令和8(2026)年8月21日(金) 午後1時30分～午後4時	・柿木図書館 ・みんなの街の駅 (下井草5-19-12)	40人	
4	令和8(2026)年8月22日(土) 午後1時30分～午後4時		41人	

＊オープンハウス会場のほか、区ホームページや対象施設でアンケートを実施
（回答数：会場38件、区ホームページ等80件）

■ 主なご意見

柿木図書館の改築工事期間中、図書の貸出・返却ができる場所を近隣に設置してくれるのはとても有難い。
柿木図書館と(仮称)コミュニティふらっと四宮には、子どもたちの居場所になるようなフリースペースを確保してほしい。
四宮区民集会所でのこれまでの活動が、(仮称)コミュニティふらっと四宮でも継続できるようにしてほしい。
ゆうゆう四宮館の利用者が工事期間中も継続して活動できるようにしてほしい。



■ アンケートの主な回答

①更新方法（素案）の良い点

配置が変わらないため、利用者や近隣への影響が少ない	76人
柿木図書館の休館期間が３年と、柿木図書館と四宮保育園の配置を入れ替える場合の６年よりも短くなる	63人
柿木図書館の配置が変わらないため、緑に囲まれた静かな環境にある図書館を維持しやすい	68人
四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接する四宮区民集会所を併せて改築することで、これまでよりも広い部屋を確保できるなど、利用者ニーズの変化等に対応できる	52人
コミュニティふらっとを整備することで、区民集会所を整備する場合と比べて、誰でも予約なしで自由に利用できるラウンジを広く確保できる	48人
特になし	15人
その他	0人

②更新方法（素案）の気になる点

四宮保育園の園庭が認可基準(204.6㎡)の２倍程度(400㎡弱を想定)となるものの、現状(563㎡)よりも小さくなる	18人
四宮保育園の仮設園舎への移転が必要になる	28人
図書館と集会施設を複合化しないため、集会施設のラウンジ等を図書館の閲覧スペースとして共有することができない	14人
将来的な四宮区民集会所の改築も含めれば全体の費用は変わらないかもしれないが、今回の取組に限ってみれば、区民集会所を改築する分だけ費用が高くなる	15人
コミュニティふらっとにおいても、貸室の無料利用や運営事業者による講座開催など、ゆうゆう館の機能は継承されるものの、高齢者専用の施設ではなくなる	22人
特になし	60人
その他	7人

4. ワークショップを通じて作成した更新方法（たたき台）

4－1　たたき台の内容

たたき台１　区民集会所は改築せず、保育園・ゆうゆう館、図書館を現地改築する案

■ 更新後の施設配置



■ たたき台1の主なポイント

○施設の配置が現状と変わらず、利用者や近隣住民への影響が小さい。
○高齢者が中心に利用する施設としてゆうゆう館を存置できる。
○区民集会所の休館期間が生じない。
○区民集会所を改築しないため、当面の改築費用を抑えることができる。
○図書館の休館期間を３年程度に抑えることができる。
▲敷地①・②を一体的に活用できず、土地の有効活用を図りにくい。
▲ゆうゆう館を存置すると高齢者の利用が中心となり、夜間の稼働率が低いなど、施設の有効活用が図られにくい。
▲保育園の延床面積は現在の基準に合わせて増加するため、園庭面積が現状よりも小さくなる。
▲保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が必要になる。

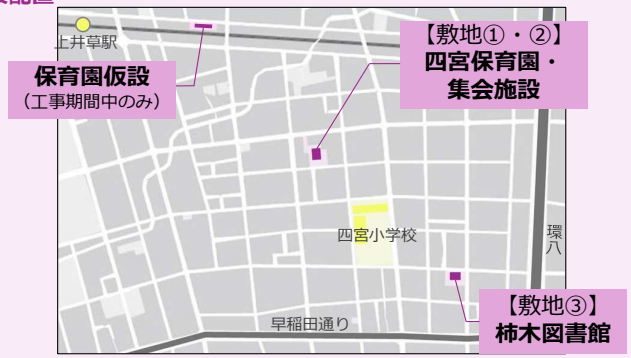
○＝メリット　▲＝留意点等

■ 参考にしたワークショップでの主なご意見

○各施設の立地が良い環境にあるので、現在の場所で施設を更新してほしい。
○全ての施設を現在の場所で更新することが、「地域のシンボル性や歴史の継承」の観点から大きな意味がある。
○現在のゆうゆう四宮館の雰囲気は家庭的で、温かみがあることが魅力であり、今のまま改築してほしい。
○ゆうゆう四宮館は、高齢者にとって憩いの場であり、楽しい時間を過ごせる場所である。
○休館期間中における代替の活動場所を考えておく必要性がある。特に高齢者は環境が変わるなどして、一度活動が途切れると、その後続けることが難しくなる。

たたき台２　保育園と集会施設を併設し、図書館を現地改築する案

■ 更新後の施設配置



■ たたき台2の主なポイント

〇施設の配置が現状と大きく変わらず、利用者や近隣住民への影響が小さい。
〇敷地①・②を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。
〇集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられるが、仮にコミュニティふらっとを整備する場合、トイレなどを集約することで、現在の区民集会所よりもラウンジ等を広く確保できる。
〇新しい集会施設(区民集会所又はコミュニティふらっと)を整備することで、ダンスなどの軽運動等が可能な多目的室を設けることができる。
〇図書館の休館期間を３年程度に抑えることができる。
▲ゆうゆう館と区民集会所の改築工事期間中(３年程度)は、周辺の施設を利用する必要がある。
▲保育園の延床面積は現在の基準に合わせて増加するため、園庭面積が現状よりも小さくなる。
▲保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が必要になる。

〇＝メリット　▲＝留意点等

■ 参考にしたワークショップでの主なご意見

○各施設の立地が良い環境にあるので、現在の場所で施設を更新してほしい。
○ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約することで、敷地を有効活用でき、広いフリースペースを設けることができるのではないか。
○ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約する場合、建物内でエリアを分けつつ、入口やラウンジなどを共有することで、世代毎に集まることの安心感と世代を超えた交流を両立できるようになるのではないか。
○ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所は、よく利用されている時間帯が異なるため、両施設を複合化することで、施設の有効活用が図られるのではないか。

たたき台３　保育園と図書館の配置を入れ替え、図書館と集会施設を合築する案

■ 更新後の施設配置



■ たたき台3の主なポイント

〇敷地①・②を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。
〇集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられるが、仮にコミュニティふらっとを整備する場合、トイレなどを集約することで、現在の区民集会所よりもラウンジ等を広く確保できる。
〇新しい集会施設(区民集会所又はコミュニティふらっと)を整備することで、ダンスなどの軽運動等が可能な多目的室を設けることができる。
〇敷地③では、面積が狭いため、開架部分（本棚等）の面積を維持したまま図書館と集会施設を合築することはできないが、敷地①・②では、図書館の開架部分の面積を現地改築の場合と同程度確保しながら、集会施設と合築(2階建てを想定)できる。
〇保育園の延床面積が現在の基準に合わせて増加するものの、園庭面積を現状程度確保できる。
〇保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が不要である。
▲保育園と図書館の場所が変わるため、利用者や近隣住民への影響が大きい。
▲ゆうゆう館と区民集会所の改築工事期間中(３年程度)は、周辺の施設を利用する必要がある。
▲図書館の休館期間が６年程度と長く、利用者への影響が大きい。

〇＝メリット　▲＝留意点等

■ 参考にしたワークショップでの主なご意見

○図書館に会議ができたり、おしゃべりができる場所があると良いので、図書館と集会施設を一体化してはどうか。
○図書館に多目的室を設けて、地域の人が交流できる空間があると良い。
○保育園には、ホールや園庭などのスペースを十分に確保できると良い。
○ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約することで、敷地を有効活用でき、広いフリースペースを設けることができるのではないか。
○保育園は、単独で大きく建てた方が安全面やセキュリティの観点から良いと思う。

4－2　たたき台の比較

（１）たたき台を比較するための“取組への期待”及び“視点”

○ワークショップ参加者等のご意見を**“取組への期待”**として整理した上で、“取組への期待”ごとに、たたき台を比較するための**“視点”**を作成しました。

■ ワークショップでの主なご意見

○多世代がフレキシブルに利用できるように、区民集会所とゆうゆう館を一体的に整備するなど利用者の年代の幅を拡大する必要がある。
○四宮区民集会所の建物が奥まっているため、何を行っている施設か分からず入りにくい。
○ゆうゆう四宮館は、バリアフリー化ができておらず、高齢者や車いすの方にとって不便である。雨の日はスロープが滑りやすいなどの危険もある。
○ゆうゆう館は、高齢者にとって憩いの場であり、楽しい時間を過ごせる場所である。
○四宮区民集会所の春祭りや餅つきは地域に根付いている。地域の特長的なイベントを残してほしい。
○区民集会所とゆうゆう館を同じ建物内に併設し、共有のフリースペースを設けることで広いスペースの確保ができる。双方の利用時間帯も異なると思うので、スペースの有効活用も可能になる。

取組への期待	(1)様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる
視点	・様々な使い方ができるスペースや地域の人々が集まり交流できるスペースが確保されているか ・現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか

取組への期待	(2) 気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる
視点	・集会施設について、周囲から目につく建物になっていて、気軽に立ち寄れるか ・ 一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせるか

取組への期待	(3)安全・安心の確保
視点	・高齢者や障害者などが安全に利用できるか ・誰もが安心して過ごせる施設となっているか

取組への期待	(4) 子どもがのびのびと育つ
視点	・保育園の園庭を十分に確保できるか ・子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できるか ・子どもたちが他の世代と交流する機会を確保できるか ・子どもの学ぶ機会や本に触れる機会を確保できるか

取組への期待	(5) 高齢者の活動場所の確保
視点	・高齢者団体のこれまでの活動を継続できるか ・高齢者にとって温かみが感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所となっているか

取組への期待	(6) 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和
視点	・地域の祭りなど、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか ・近隣施設との配置バランスが取れているか ・図書館敷地にある樹木を維持できるか ・周辺環境への影響を抑えられているか

取組への期待	(7) 土地・建物の有効活用
視点	・土地や建物が有効活用されているか ・整備コストを抑えられているか ・改築に伴う休館期間が短く抑えられているか

（２）たたき台の比較

○ワークショップ参加者等のご意見を踏まえて作成した“取組への期待”及び“視点”に沿って、“たたき台”の比較を行いました。

取組への期待（１）　様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる

視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
様々な使い方ができるスペースや地域の人々が集まり交流できるスペースが確保されているか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、区民集会所の間取りを大幅に変更することや新たなスペースを確保することは難しい。	集会施設を改築することで、ダンスなどの軽い運動や音の出る活動など、様々な使い方ができる多目的室を新たに設置できるとともに、地域の人々が交流できるラウンジなどのスペースをこれまで以上に確保できる。	
			図書館と集会施設を合築することで、イベントの幅が広がるなど、新たな交流を生むことができる。
	図書館を改築することで、図書の閲覧や調べものなど、様々な使い方ができるスペースを確保できる。		
現在の地域活動を継続し、発展させていくための場所が確保されているか	集会施設を引き続き整備することで、地域活動を継続し、発展させる場を維持できる。		

◎：現状より向上するもの　○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの　□：全てのたたき台に共通するもの

■ **上記比較に対するワークショップでの主なご意見**

○たたき台１で区民集会所を改築しなかったとしても、運営の工夫により、様々な使い方ができるスペースや地域の人々が集まり交流できるスペースを確保することはできると思う。
○たたき台２・３では、地域住民が交流できるスペースがこれまで以上に確保できる点が良い。
○たたき台３では、図書館と集会施設を合築するため、シナジー(相乗)効果があることや、図書館が駅に近くなり利用しやすくなるため、◎より更に高い評価になるのではないか。



※13～18ページのイメージ画像は、生成AIを利用して作成しています。

取組への期待（2） 気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる

視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
集会施設について、周囲から目につく建物になっていて、気軽に立ち寄れるか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、道路から奥まった場所に建物がある現状は変わらない。	区民集会所を他の施設と合築することで、北側だけでなく南側の道路にも面した建物とすることができる。	
一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせる	○	◎	○
	区民集会所を改築しないため、区民集会所の間取りを大幅に変更することや新たなスペースを確保することは難しい。	集会施設を改築することで、一人や少人数でも気兼ねなく利用でき、落ち着いて過ごせるカウンターなどを備えたラウンジを新たに確保することができる。	
	図書館を単独で改築するため、集会施設と合築するたたき台３と比べて、落ち着いて読書や調べものができるスペースを確保しやすい。		図書館と集会施設を合築するため、集会施設のイベント開催時には、落ち着いて読書や調べものをすることが難しい場合もある。

◎：現状より向上するもの　○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの　□：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対するワークショップでの主なご意見

○今の柿木図書館は道路に面した角地に位置しているが、たたき台３では道路から奥まった場所になってしまい、利便性が下がってしまうと思う。

○たたき台３における図書館と集会施設の合築について、施設内のゾーニングを工夫することで音の懸念は解消できるのではないか。



取組への期待（3） 安全・安心の確保



視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
高齢者や障害者などが安全に利用できるか	施設の改築によって、高齢者や障害者などが安全に利用できるようにバリアフリー化を図れる。		
誰もが安心して過ごせる施設となっているか	施設の改築によって、敷地や施設内の見通しを良くし、誰もが安心して過ごせる施設にすることができる。		

■ 上記比較に対するワークショップでの主なご意見

○現在の柿木図書館の東側にある道路は交通量が多く、たたき台３で保育園を移転した場合、子どもの送迎の際に危険が生じないか懸念がある。

取組への期待（4） 子どもがのびのびと育つ



視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
保育園の園庭を十分に確保できるか	保育園の園庭面積は、認可基準(204.6㎡)以上を確保できるものの、現状(563㎡)よりも小さくなる(400㎡弱を想定)。		保育園の園庭面積を現状程度確保できる。
子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できるか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、授乳室など乳幼児親子のためのスペースを新たに整備することは難しい。	集会施設を改築することで、授乳室など乳幼児親子のためのスペースを新たに整備できる。	
	図書館を改築することでバリアフリートイレや幼児用トイレ、授乳室、乳幼児コーナーなど乳幼児親子のためのスペースを新たに整備できる。		
子どもたちが他の世代と交流する機会を確保できるか	○	◎	○
	保育園とゆうゆう館を合築することで、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者の交流イベントを継続しやすい。	保育園と集会施設を合築することで、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者の交流イベントを継続しやすい。	保育園を単独で整備するため、現在ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者の交流イベントを継続しにくくなる。
		集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備した場合、多世代向けのイベントなどを通じて、子どもたちが他の世代と交流しやすくなる。	
子どもの学ぶ機会や本に触れる機会を確保できるか	○	◎	◎
	区民集会所を改築しないため、小中学生の学習スペースを充実させることなどは難しい。	集会施設を改築することで、小中学生の学習スペースを充実させることができる。	
	図書館を改築することで、小中学生の学習スペースや児童コーナーを充実させることができる。		

◎：現状より向上するもの　○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの　□：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対するワークショップでの主なご意見

○たたき台１・２では、保育園の園庭面積が現状よりも小さくなるが、認可基準の約２倍の面積を確保できるのであれば十分だと思う。

○保育園と高齢者の交流は、ゆうゆう館に限らず、老人ホームなど近隣の施設にも広げるべきだと思う。

取組への期待（５） 高齢者の活動場所の確保

視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
高齢者団体のこれまでの活動を継続できるか	○	○	○
	ゆうゆう館が継続するため、高齢者団体はこれまでと同様に活動できる。	集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備する場合であっても、高齢者団体の優先利用枠を確保することで、これまでの高齢者団体の活動を継続することができる。	
高齢者にとって温かみが感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所となっているか	○	○	○
	利用者と受付職員の距離が近く、温かみを感じやすいゆうゆう館が継続する。	集会施設として仮にコミュニティふらっとを整備する場合であっても、ゆうゆう館と同様に受付事業者がイベントなどの事業を行うことで、利用者と受付職員の距離が近くなり、高齢者にとって温かみが感じられるとともに、敷居が低く使いやすい場所にすることができる。	

◎：現状より向上するもの　○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの　□：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対するワークショップでの主なご意見

○たたき台１・２は、ゆうゆう館又はコミュニティふらっとが保育園と併設することで、保育園児との交流ができ、高齢者にとって安らぎの場となるため、評価は○ではなく◎だと思う。
○ゆうゆう館を整備する場合とコミュニティふらっとを整備する場合で、評価は異なるのではないか。



取組への期待（６） 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和

視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
地域のお祭りなど、地域のシンボル性や歴史を継承することができるか	地域区民センター協議会などが区民集会所等で実施してきたお祭りなどのイベントは、いずれのたたき台でも継続できる。		
近隣施設との配置バランスが取れているか	○	○	○
	保育園と図書館の場所は、現在と変わらない。 なお、区立保育園は、近隣の私立保育園を支援する役割を担っており、井草地域を担当するのが四宮保育園である。 また、図書館は、区内７地域に各２館ずつ配置することとしており、井草地域は柿木図書館と下井草図書館が該当する。		保育園と図書館の場所が変わるが、同じ井草地域内であり、配置のバランスは維持できる。
	集会施設の場所は、いずれのたたき台でも現在と変わらない。		
図書館敷地にある樹木を維持できるか	**影響（大）**	**影響（大）**	**影響（小）**
	図書館の規模が現状よりも大きくなることから、現在の図書館敷地にある樹木を一定程度伐採する必要がある。		現在の図書館敷地に図書館よりも規模の小さい保育園を整備するため、たたき台１・２と比べて伐採する樹木の範囲は小さくなる可能性がある。
周辺環境への影響を抑えられているか	**影響（小）**	**影響（小）**	**影響（大）**
	施設の配置が現状と変わらず、周辺環境に及ぼす影響が小さい。		保育園と図書館の場所が変わるため、周辺環境に及ぼす影響がたたき台１・２と比べて大きい。

◎：現状より向上するもの　○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの　□：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対するワークショップでの主なご意見

○「地域のお祭りなどを継承できるのか」という視点について、たたき台1は現状と大きく変わらないが、たたき台2・3では新たな集会施設を整備することでイベントの可能性が広がり、イベント規模を大きくできるなどのメリットも期待できる。
○図書館とその敷地内にある樹木は一体的に捉えるべきだと思う。図書館が移転して樹木だけ残ってもシンボル性は継承できないと思う。



取組への期待（7）

土地・建物の有効活用

視点	たたき台１	たたき台２	たたき台３
土地や建物が有効活用されているか	○	◎	◎
	現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用できず、土地の有効活用を図りにくい。 ゆうゆう館を存置するため、高齢者の利用が中心となり、夜間の稼働率が低いなど、建物の有効活用が図られにくい。	現在の保育園・ゆうゆう館と区民集会所の敷地を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。 集会施設として仮にゆうゆう館ではなくコミュニティふらっとを整備した場合、多世代が利用できるようになることで建物の有効活用を図れる。	図書館と集会施設を合築するため、両施設で多目的室やラウンジ、トイレなどを共有できるなど、建物の有効活用を図れる。
整備コストを抑えられているか	**コスト（中）**	**コスト（大）**	**コスト（小）**
	区民集会所を改築しないため、当面の改築費用を抑えることができる。一方で、保育園の仮設園舎を建設する費用が必要となる。	区民集会所を含めて全ての対象施設を改築するとともに、保育園の仮設園舎を建設するため、整備コストはたたき台の中で一番大きくなる。	区民集会所を含めて全ての対象施設を改築するが、保育園の仮設園舎を建設しないため、整備コストは３つのたたき台の中で一番小さくなる。
改築に伴う休館期間が短く抑えられているか	**影響（小）**	**影響（中）**	**影響（大）**
	【休館期間】 保　育　園：なし 図　書　館：３年程度 ゆうゆう館：３年程度 区民集会所：なし (改築せず)	【休館期間】 保　育　園：なし 図　書　館：３年程度 ゆうゆう館：３年程度 区民集会所：３年程度	【休館期間】 保　育　園：なし 図　書　館：６年程度 ゆうゆう館：３年程度 区民集会所：３年程度

◎：現状より向上するもの　○：現状維持のもの又は現状より低下するものと向上するものを両方含むもの　□：全てのたたき台に共通するもの

■ 上記比較に対するワークショップでの主なご意見

○区民集会所を20年後に改築することになるのなら、存置せず、周辺施設と一緒に更新した方が良い。
○たたき台１は、当面の整備コストが（中）となっているが、いずれ区民集会所を改築する必要があるので、長期的に考えると（大）になるのではないか。
○物価が年々上昇していることから、整備コストは特に重視すべき点だと考える。
○たたき台３における図書館の休館期間（６年）は、土地を無駄遣いしているのではないのだから、マイナス要因ではないと思う。



5. たたき台へのご意見を踏まえた更新方法（素案）

5－1　素案を検討するに当たってのポイント

○更新方法（たたき台）に関するオープンハウスでのご意見等を踏まえた上で、以下の３つのポイントに基づいて、更新方法（素案）を検討しました。

ポイント１

柿木図書館と四宮保育園の移転

※たたき台1,2　→ 移転しない
　たたき台3　　→ 移転する



・近隣への影響
・各施設の環境
・柿木図書館の休館期間
・四宮保育園の仮設園舎
についてどう考えるか？

ポイント２

四宮区民集会所の改築

※たたき台1　　→ 改築しない
　たたき台2,3　→ 改築する



・四宮区民集会所の改築費用
・土地の有効活用
についてどう考えるか？

ポイント３

集会施設の形態

※ゆうゆう館と区民集会所
or
コミュニティふらっと



・様々な世代が気軽に利用できる居場所
・高齢者専用の施設
・施設の有効活用
についてどう考えるか？

ポイント1　柿木図書館と四宮保育園の移転

柿木図書館と四宮保育園の移転に関しては、これまでのワークショップやオープンハウス等で様々な観点から多くのご意見をいただいており、こうしたご意見等を踏まえた上で、改めて柿木図書館と四宮保育園の配置を入れ替えない案(たたき台1,2)と入れ替える案(たたき台3)の比較を行いました。

【柿木図書館と四宮保育園の移転に関する比較】

項目	柿木図書館と四宮保育園を入れ替えない案(たたき台1,2)		柿木図書館と四宮保育園を入れ替える案(たたき台3)	
近隣への影響	○	・施設の場所が変わらないため、近隣への影響が小さい。	△	・施設の場所が変わるため、近隣への影響が大きい。特に、図書館は地域に根差した施設として、移転に反対する意見が多い。
施設環境	―	・施設の場所が変わらないため、現在の施設環境と変化が少ない。特に、緑に囲まれた静かな環境にある図書館をこのまま維持してほしいといった意見が多い。なお、保育園の延床面積が現在の基準に合わせて大きくなるため、園庭面積は現状よりも小さくなる。	―	(図書館) ・場所を移転し、集会施設と一体的に整備するため、施設環境が変わる。 (保育園) ・場所の移転に伴い、施設環境が変わる。 ・園庭面積を現状程度確保できる。
図書館の休館期間	○	・図書館の休館期間が約3年となる。(解体約1年、建築約2年)	△	・図書館の休館期間が約6年となる。(図書館解体約1年、図書館跡地への新保育園建築約2年、旧保育園等解体約1年、旧保育園跡地への図書館建築約2年)
保育園の仮設園舎	△	・保育園の仮設園舎を整備する費用がかかる(約3.5～4.5億円)。また、仮設園舎への移転に伴う園児・保護者の負担が生じる。	○	・保育園の仮設園舎を整備する費用が不要。また、仮設園舎への移転がないため、園児・保護者の負担が減る。

図書館と保育園の配置を入れ替える場合、保育園の仮設園舎が不要となるため、整備費用を抑えられる一方で、図書館の休館期間が長期化(６年間)するなどの課題があります。また、ワークショップやオープンハウス等を通じて、柿木図書館については、地域に根差した施設として多くの利用者に親しまれており、現在の場所から移転してほしくないといったご意見を数多くいただきました。

区としましては、地域住民や利用者のこうした想いを受け止め、十分に尊重していくことが重要であると考え、**柿木図書館と四宮保育園を移転しない**案を更新方法（素案）とします。

整備に当たっては、以下の点に留意していきます

保育園の園庭について

○四宮保育園の園庭は、現状(563㎡)よりも小さくなるものの、認可基準(204.6㎡)の２倍程度の面積(400㎡弱を想定)を確保していきます。

保育園の仮設園舎について

○保育園の仮設園舎については、在園児に影響が生じないようにするため、現在の在園児が卒園した後の令和13 (2031)年度以降に利用することとします。また、令和9 (2027)年度以降の入園者に対しては、仮設園舎を利用することになる旨をあらかじめお知らせします。

○仮設園舎の整備に当たっては、線路の南側にある他の用地を活用できないか等について引き続き検討するとともに、できる限りコストの縮減に努めていきます。

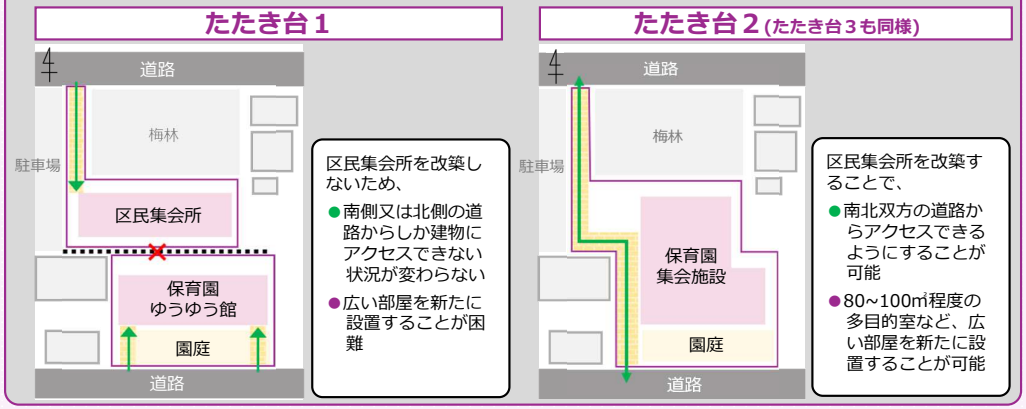
ポイント2　四宮区民集会所の改築

四宮保育園・ゆうゆう四宮館と隣接していることから検討の対象としている四宮区民集会所について、これまでのワークショップやオープンハウスでのご意見等を踏まえた上で、改めて四宮区民集会所を改築しない案(たたき台1)と改築する案(たたき台2,3)の比較を行いました。

【四宮区民集会所の改築に関する比較】

項目	四宮区民集会所を改築しない案(たたき台1)		四宮区民集会所を改築する案(たたき台2,3)	
区民集会所の改築費用	○	・区民集会所の改築に係る費用(約1.5～2.5億円)がかからない。ただし、今後、単独で区民集会所を改築する際に、別途費用がかかる。	△	・区民集会所の改築に係る費用(約1.5～2.5億円)がかかる。
土地の有効活用/利便性の向上	△	・今後、単独で区民集会所を改築する際、敷地面積が小さく、コミュニティふらっとの整備が難しくなるなど、活用検討の幅が狭くなる。	○	・土地を一体で有効活用し、これまでよりも広い部屋を設置できるなど、利用者の利便性向上を図れる。

更新後のイメージ（一例）



区民集会所を築47年程度で改築することについては、費用の観点から無駄であるというご意見があった一方で、「今回改築しなかったとしても10数年後には改築することを考えると、整備費用は今よりもさらに高くなっている可能性があり、課題を先送りするのではなく、このタイミングで課題解決を図った方がメリットが大きい」などのご意見もありました。

区としましては、これまでよりも広い部屋を設置できるなど、利用者のニーズに対応した、より魅力的な施設を整備することができると考え、保育園・ゆうゆう館と併せて**四宮区民集会所を改築する**案を更新方法(素案)とします。

整備に当たっては、以下の点に留意していきます

整備費用について

○集会施設の整備に当たっては、現在の利用状況等を踏まえた上で、必要な集会室の数を検討するなど、整備費用の適正化に努めます。

保育園の安全性について

○保育園と集会施設の併設に当たっては、両施設の出入口を別々に設けるとともに、壁や扉などにより建物内の動線を分離することで、園児の安全性を十分に確保していきます。

ポイント3　集会施設の形態

集会施設について、これまでのワークショップやオープンハウス等でのご意見のほか、ゆうゆう四宮館や四宮区民集会所の利用者のご意見等を踏まえた上で、ゆうゆう館と区民集会所を整備する案とコミュニティふらっとを整備する案の比較を行いました。

【集会施設の形態に関する比較】

項目	ゆうゆう館と区民集会所の整備		コミュニティふらっとの整備	
様々な世代が気軽に集まれる居場所	△	・誰もが予約なしで自由に利用できる区民集会所のロビーについて、区民集会所のほかにゆうゆう館を整備するため、コミュニティふらっとを整備する場合と比べて広いスペースを確保しにくい。	○	・予約なしで自由に利用できるラウンジを広く確保することで、おしゃべりができる空間と静かに過ごせる空間を分けるなど、様々な世代の多様なニーズに応えていくことができる。
高齢者専用の施設	○	・高齢者専用の施設としてゆうゆう館が継続する。	△	・高齢者専用ではなく、多世代向けの施設になる。
施設の有効活用	△	・ゆうゆう館と区民集会所にトイレや事務室、階段等を別々に設置する必要があるため、コミュニティふらっとを整備する場合と比べて、施設の有効活用を図りにくい。	○	・トイレや事務室、階段等の共用部を一つに集約できるため、ゆうゆう館と区民集会所を別に整備する場合と比べて、施設の有効活用を図りやすい。

これまでのワークショップやオープンハウス等では、「ゆうゆう館や区民集会所の利用者は限られており、地域住民がもっと気軽に利用しやすいような集会施設にしてほしい」といったご意見がありました。また、ゆうゆう館の利用者からは「貸室利用の前後にくつろげたり、飲食ができるスペースをつくってほしい」とのご意見や、四宮小学校の児童からは「友達とおしゃべりできる場所がほしい」などのご意見をいただきました。

こうしたことを踏まえ、区としましては、年齢に関係なく誰でも自由に利用できるスペースをできるだけ広く確保することなどが重要であると考え、**集会施設としてコミュニティふらっとを整備する**案を更新方法(素案)とします。

一方、ゆうゆう館の利用者からは、「ゆうゆう四宮館には魅力的な講座が多いので継続してほしい」や「ゆうゆう四宮館の受付の人は、利用者への声掛けなどをしてくれて温かく、コミュニティふらっとになっても大きく雰囲気を変えないでほしい」といったご意見もいただいており、こうしたゆうゆう四宮館の良さをコミュニティふらっとへも継承していくため、以下のことに取り組んでいきます。


コミュニティふらっと成田のラウンジ


コミュニティふらっと永福の多目的室

⚠ 整備に当たっては、以下の点に留意していきます

ゆうゆう館機能の継承について

○コミュニティふらっとでは、高齢者団体が一般の利用者よりも先に貸室を予約できる優先枠を設け、使用料を免除することで、ゆうゆう館の活動を継続できるようにしています。
また、コミュニティふらっとは、運営事業者が利用者の要望をお聴きしながら、多世代向けのイベントのほか、**高齢者向けの講座などを実施**しており、今後も利用者のニーズに合った魅力的な企画を考えていきます。

○コミュニティふらっとにおいても、ゆうゆう館と同様に運営事業者による声掛けや見守りなど、高齢者にとって温かみの感じられる対応を行っていきます。
なお、コミュニティふらっと8館のうち5館は、ゆうゆう館の運営経験がある事業者(NPO法人等)が運営しています。

5－2　素案の内容

ポイント1～3を踏まえ、更新方法(素案)は、柿木図書館と四宮保育園を現在の場所でそれぞれ改築するとともに、四宮保育園・ゆうゆう四宮館と併せて四宮区民集会所を改築する**たたき台2**にすることとしました。また、集会施設については、**コミュニティふらっと**を整備することとします。



■ “取組への期待”に基づく更新方法（素案）の評価

ワークショップで整理した“取組への期待”に基づき、区として更新方法（素案）を評価しました。

⑴様々な用途で利用できるほか、地域の人々が集まり、交流が生まれる	○コミュニティふらっとを新たに整備することで、ダンスなどの軽い運動や音の出る活動など、様々な用途で利用できる多目的室を設置するとともに、地域の人々が自由に使え、交流ができるラウンジをこれまで以上に広く確保できます。
⑵気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる	○コミュニティふらっとを新たに整備することで、一人や少人数でも気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせるようなカウンターなどを備えたラウンジを設置できます。 ○柿木図書館を単独で改築することにより、落ち着いて読書や調べものができるスペースを確保できます。
⑶安全・安心の確保	○柿木図書館とゆうゆう四宮館(集会施設)を改築することで、エレベーターを新たに設置するなどバリアフリー化を図れます。
⑷子どもがのびのびと育つ	○四宮保育園の園庭面積は現状(563㎡)よりも小さくなるものの、認可基準(204.6㎡)以上を十分に確保できます(400㎡弱を想定)。 ○コミュニティふらっとを新たに整備することで、子どもたちが放課後等に自由に立ち寄れるラウンジを広く確保できます。
⑸高齢者の活動場所の確保	○コミュニティふらっとでは、高齢者団体が一般の利用者よりも先に貸室を予約できる優先枠を設け、使用料を免除することで、ゆうゆう館と同様に高齢者の活動場所を確保していきます。また、運営事業者による高齢者向けの講座や見守り・声掛けなどを通じて、高齢者にとって温かみの感じられる対応を行っていきます。
⑹地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和	○施設の配置が現状と変わらないため周辺環境に及ぼす影響は小さく、地域のシンボル性や歴史を継承しやすいです。特に、柿木図書館は、地域に根差した施設として親しまれており、現在の場所から移転してほしくないといったご意見を多くいただきました。
⑺土地・建物の有効活用	○四宮保育園・ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所の敷地を1つの敷地として整備することで、これまでよりも広い部屋を確保できるなど、土地の有効活用を図れます。また、コミュニティふらっとを新たに整備することで、ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所のトイレや事務室、階段等の共用部を集約でき、ゆうゆう館と区民集会所を整備する場合と比べて、施設の有効活用が図れます。

6. 素案へのご意見を踏まえた更新方法（案）

○更新方法（素案）に関するオープンハウスでのご意見等を踏まえ、更新方法（案）を作成しました。

■ 更新方法（案）の概要



- 柿木図書館を現在の場所で改築
- 四宮保育園・ゆうゆう四宮館と、隣接する四宮区民集会所を解体し、四宮保育園と(仮称)コミュニティふらっと四宮の併設施設を整備
- (仮称)コミュニティふらっと四宮では、ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所の機能を継承
- 四宮保育園の改築工事期間中は、遊び場116番(井草5-2)に仮設園舎を整備し、運営を継続

■ 更新スケジュール（予定）

現在の建物等	更新後の建物等	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)
柿木図書館	図書館	設計	解体	建築		開設				
			図書館 休館 3年							
四宮保育園 ゆうゆう四宮館 四宮区民集会所	保育園 コミュニティ ふらっと				設計	解体	建築		開設	
						ゆうゆう館・区民集 休館 3年				
遊び場116番	（保育園仮設園舎）			設計・建築		仮設園舎利用			解体	

■ 各施設の休館期間中の対応

施設名	休館期間	改築中の施設利用
柿木図書館	令和10(2028)年度～令和12(2030)年度（3年間）	周辺の下井草図書館や今川図書館などをご利用いただくことができます。また、予約した区立図書館資料の貸出・返却ができる図書サービスコーナーを井草地域区民センターに設置します。
ゆうゆう四宮館	令和13(2031)年度～令和15(2033)年度（3年間）	周辺のゆうゆう桃井館やゆうゆう井草館、ゆうゆう今川館などをご利用いただくほか、井草地域区民センターに高齢者団体が一般の利用者に優先して利用できる枠を確保し、使用料を免除する予定です。 運営事業者が実施する講座等の協働事業については、団体活動として継続できるように利用者等と調整していきます。
四宮区民集会所	令和13(2031)年度～令和15(2033)年度（3年間）	周辺の井草地域区民センターや八成区民集会所などをご利用いただくことができます。

更新方法（案）に関するQ&A

Q1 更新後の柿木図書館はどのような図書館になるの？

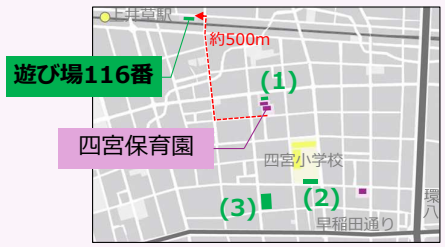
A ○今後、柿木図書館のコンセプトや館内の設備・スペース・レイアウト等に関するアンケートを実施し、設計や運営方法等に反映させていきます。
○なお、これまでのアンケート等では、「静かに本を読めるスペースが少ないので増やしてほしい」や「イベント等の開催で地域が活気づくような施設にしてほしい」などのご意見をいただいています。

Q2 柿木図書館にある豆柿やメタセコイヤなどの樹木は残せるの？

A ○新しい柿木図書館は、エレベーターの設置などバリアフリー対応を図る必要があることから、現在の施設規模よりも大きくなる想定です。こうしたことのほか、一部の樹木は腐朽している可能性があるため、既存の樹木については一定程度伐採する必要があると考えていますが、現在の柿木図書館の雰囲気を残せるような工夫を検討していきます。

Q3 四宮保育園を改築している間の仮設園舎はどうなるの？

A ○仮設園舎用地は、遊び場116番（井草5-2）の一部を活用することを想定しています。
○線路からの距離が近いですが、仮設園舎の建設に当たっては、防音性能を高めるなどの対策を行い、子どものお昼寝に支障が出ないように十分配慮していきます。
なお、区内の保育園の中には、線路沿いに立地しているところもありますが、電車の音や振動によってお昼寝などに特段の支障が出ているといったことはありません。
○新規の入園希望者に対しては、事前に仮設園舎の利用期間や場所を入園のお知らせ等でお知らせしますので、入園希望者がそれぞれご家庭の事情に応じて適切に保育園を選べるようにしていきます。
なお、在園している園児に影響が生じないよう、仮設園舎への移転は在園児が卒園した後の令和13(2031)年度以降を予定しています。
○仮設園舎で使用しない残りの敷地については、引き続き遊び場として活用していきます。
また、仮設園舎から徒歩約4分の四宮森公園など近隣の公園も利用することで、適切な保育環境を確保していく考えです。



■ これまでに検討した他の用地(一例)

(1) 四宮区民集会所の北側敷地(梅林)
民有地であり、活用が困難であることを確認

(2) 四宮小学校の南側敷地
教育活動への影響や、樹木の伐採が必要であることを踏まえると活用は困難

(3) 上井草二丁目の団体利用農園
農地としての利用を前提に区が借りているため、他用途への転用は困難

Q4 “コミュニティふらっと”はどのような施設なの？

A
○コミュニティふらっとは、身近な地域において、子どもから高齢者まで全ての世代が交流や活動を行うための集会施設です。
○令和３年１月以降、区内８か所に整備しています。
○ラウンジなどのフリースペースは、誰でも予約不要かつ無料で利用できる交流・学び・くつろぎの場です。仕事や勉強ができるように、フリーWi-Fiや電子機器用のコンセントを設置しています。
○会議や趣味の活動などで利用できる貸室のほか、ダンスなどの軽運動や楽器演奏など、音の出る活動ができる多目的室を設置しています。
○運営事業者は区と協定を締結し、ヨガや英会話教室など地域住民の要望に応える様々な講座を実施しています。また、知り合いを作るきっかけとなるようお祭りを年2回開催しており、誰でも参加できます。


コミュニティふらっと成田のラウンジ


コミュニティふらっと永福の多目的室

Q5 ゆうゆう四宮館や四宮区民集会所での団体活動は、コミュニティふらっとでも継続できるの？

A
○コミュニティふらっとでは、高齢者団体がその他の団体に先行して予約できる優先枠を設け、使用料を免除することで、ゆうゆう館での団体活動を継続できるようにしています。
○また、ゆうゆう四宮館及び四宮区民集会所の団体活動が継続できるよう、コミュニティふらっとに整備する集会室の部屋数の確保を検討します。

Q6 四宮区民集会所の春まつりはなくなってしまうの？

A
○四宮区民集会所の春まつりについては、今後も井草地域区民センター協議会の主催イベントとして継続できるように調整していきます。また、コミュニティふらっとでは、運営事業者が高齢者向けの講座のほか、多世代向けのイベントなどを新たに実施することで、地域のコミュニティ形成を促進していきます。

7. 今後のスケジュール（予定）

令和８年10月（2026年）
・更新方法（案）を反映した区立施設マネジメント計画（改定案）に関するパブリックコメントの実施

令和９年１月（2027年）
・区立施設マネジメント計画の改定（更新方法の決定）

更新方法に基づく取組

令和10年度～（2028年度）
◆ 柿木図書館の解体及び建築(令和12(2030)年度まで)

令和13年度～（2031年度）
◆ 新しい建物での柿木図書館の運営開始
◆ 四宮保育園の仮設園舎への移転(令和15(2033)年度まで)
◆ 四宮保育園・ゆうゆう四宮館、四宮区民集会所の解体及び四宮保育園・(仮称)コミュニティふらっと四宮の建築(令和15(2033)年度まで)

令和16年度～（2034年度）
◆ 新しい建物での四宮保育園・(仮称)コミュニティふらっと四宮の運営開始

